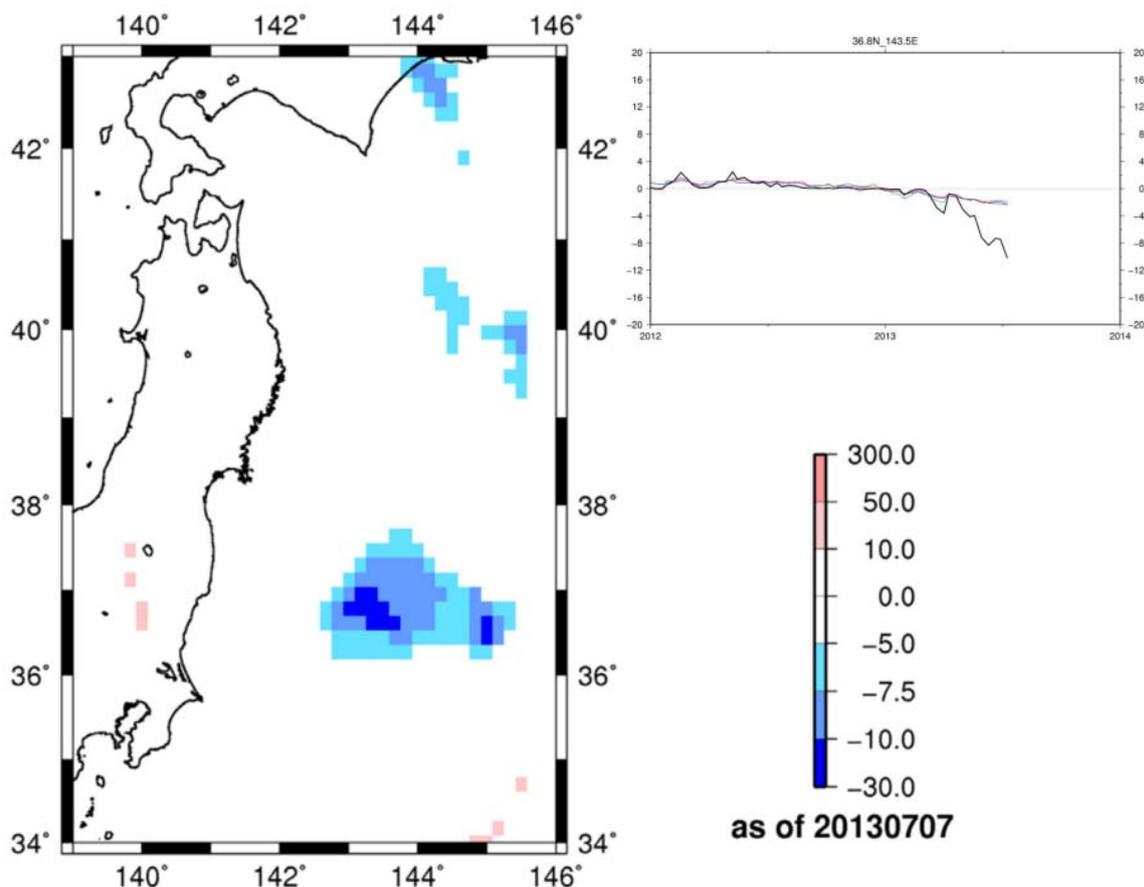


東北沖の状況

6月11日に引き続き、東北沖（福島沖）の状況です。



7月7日の時点でも東北沖（福島沖）の静穏化領域（図の中で青い領域）はまだ明瞭に存在しております。経験則が正しければ、まだ地震発生の段階とは判断しておりません。右上のグラフは静穏化領域の中心付近（北緯 36.8 度，東経 143.5 度）での時間変化です。グラフがまだ右下がりの状態という事がわかります。

これまで、東海・近畿地方と東北沖の状況を地下天気図としてニュースレターでお知らせしてきましたが、順次解析範囲を広げていきたいと思えます。次回のニュースレターでは、北海道および北海道沖に焦点を当てた解析結果をお示ししたいと考えています。

関東地方は最も重要な地域ですが、地下構造が極めて複雑（太平洋プレートとフィリピン海プレートと呼ばれる2枚のプレートが関東平野の下には存在しています）なため、解析パラメータの決定が極めて難しい地域ですが、鋭意解析を進めて皆様に情報を提供できるようにしていきたいと思えます。